対象疾患	レジメン名		
大腸癌	FOLFIRI + Afl 療法		

使用抗がん剤

No.	抗がん剤名	投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	ザルトラップ注	4mg/kg	DIV	60分	d1
2	カンプト注	150~180mg/m ²	DIV	90分	d1
3	5-FU注	400mg/m ²	DIV	15分	d1
4	5-FU注	2400mg/m ²	DIV	46時間	d1∼d2
5					

投与間隔(1コース期間): 2週間

コース間での休薬期間: 12日

総コース数: 効果が認められる間(術後補助化学療法では12コースまで?)

特記事項: レボホリナート注 200mg/m²

プロトコール

フロトコール						
薬剤名	投与量	コメント				
生食(ルートキープ)	100mL					
アロキシ静注バッグ(0.75) デカドロン注(3.3)	1キット 2A	15分				
ザルトラップ注 生食(100)	上記投与量 100mL	60分				
カンプト注 5%Glu (250)	上記投与量 250mL	90分(Rp.5と同時投与)				
レボホリナート注 5%Glu(250)	上記投与量 250mL	120分(Rp.4と同時投与)				
5-FU注 生食(50)	上記投与量 50mL	急速静注 15分				
5-FU注 生食	上記投与量 全量100mL	46時間(2.5mL/h) 5-FUと生食で全量100mL 5-FUの濃度が高いため全量100mLでOK				
	薬剤名 生食 (ルートキープ) アロキシ静注バッグ(0.75) デカドロン注(3.3) ザルトラップ注 生食(100) カンプト注 5%Glu(250) レボホリナート注 5%Glu(250) 5-FU注 生食(50)	薬剤名投与量生食 (ルートキープ)100mLアロキシ静注バッグ (0.75) デカドロン注 (3.3)1キット 2Aザルトラップ注 生食 (100)上記投与量 100mLカンプト注 5%Glu (250)上記投与量 250mLレボホリナート注 5%Glu (250)上記投与量 250mL5ーFU注 生食 (50)上記投与量 50mL5ーFU注 生食 (50)上記投与量 50mL				